

紀伊山地の霊場と参詣道

世界遺産登録 15 周年

世界遺産追加登録 3 周年記念

高野七口学特別講座

豊公能『高野参詣』制作上演の意図

講師：国文学研究資料館名誉教授小林健二氏

文禄三年（1594年）三月、豊臣秀吉が母大政所の三回忌追善供養のため高野山に参詣した後、「黒河道」を下山路としたことが伝わっていますが、その折り金剛峯寺（当時の青巖寺）で演じたとされる能『高野参詣』について解説いただきます。

日時：令和元年 10月6日(日)

講演：10時00分～11時10分

受付：9時30分～

会場：橋本地区公民館研修室

橋本市市脇1丁目3-18

（橋本商工会館2階）

対象：会員及び一般（先着50名）

参加費：500円（資料代等） 申込不要

主催：高野七口再生保存会（問合せ：080-1434-0985）

※当日 6:00 現在で、現地に気象警報が発表されている場合は中止します。荒天や地震・事件・事故などにより中止・中断になる場合があります。

ホームページ <http://www.kouyananakuchi.jp> にて中止のお知らせをします。

